

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	学校支援地域本部事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名 高木 敏明
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	生涯学習課	担当者名 田中政吉
	基本事業	59	地域における子育て支援	所属班	生涯学習班	(内線) 1504
				法令根拠		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	9
	1	10	5	1	11291			コスト削減優先度評価結果	6*40
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成20 ~ 平成22 年度)			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
地域全体で学校教育を支援し、学校と地域の連携体制を図り、多様な形態の教員支援を行う。文科省の10分の10の委託事業であり、県と市教委との委託契約後、市が合志南小学校区の実行委員会である「南っ子支援ボランティアの会」に補助し、事業を行う。
【業務の流れ】
学校支援地域本部事業計画提出→事業採択後県と市で委託契約締結→県からの委託金交付→市が合志南小学校区の実行委員会「南っ子支援ボランティアの会」に補助金交付→事業終了後精算報告
【主な予算費目】
負担金補助及び交付金
1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	20年度に同じであるが、実行委員会は3回開催、また事業成果発表会を開催予定。	
○「南っ子支援ボランティアの会」実行委員会兼地域教育協議会の開催(10月・2月)		
○合志南校区での南っ子支援ボランティアの募集→ボランティア名簿の作成		
○ボランティア総参加による、「南小フェスティバル」の開催		
○南っ子支援のボランティア活動		
○「子どもとメディア…今私たちがすべきこと」講演会の開催		
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
合志南小学校区の住民	ア 人材バンクに登録された住民の数	人
	⇒ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
地域住民全体で子どもを教育する	ア(合志南小)校区内の人口	人
	⇒ イ	
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
(合志南小学校の)教職員が子どもと向き合う時間が拡充される。	ア 地域住民が学校支援に協力した回数	回
	⇒ イ	
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	
	ア 子どもの安全に不安を感じる世帯の割合	%
	⇒ イ	

(2) 総事業費・指標等の推移											
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円	18年度実績(決算)	19年度実績(決算)	20年度目標(当初予算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	22年度(目標)	23年度(予定)	全体計画 平成20 ~ 平成22 年度
		都道府県支出金	千円			321	321	941	942		総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載)
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円					1			
	(A) 事業費計	千円	0	0	321	321	942	942	0	2,205	
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	正規職員従事人数	人			1	1	1	1		1
	延べ業務時間	時間			30	30	30	30		90	
	(B)人件費計	千円	0	0	119	119	119	119	0	358	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	440	440	1,061	1,061	0	2,563	
	活動指標	人			50	60	70	80		目標合計値 22年度	
	対象指標	人			8,000	8,000	8,050	8,100			
	成果指標	回			50	60	70	80			
	上位成果指標	%	49.7	37.1	49.0	37.1	46.0	45.0			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
地域の教育力を強化し、地域全体で学校教育を支援するため、平成20年度から「学校支援地域本部事業」が文科省の委託事業として始まった。本市では合志南小学校がこの事業を希望したことから、平成20年度の途中からであるが事業に取り組んでいる。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
「団塊の世代」の大量退職時期となり、経験豊富な人材が地域に帰り、活動の場を求めていくと思われる。また一方学校では学校教職員の本来の仕事以外の業務が増加しており、子どもたちと向き合う時間が減少し細やかな指導ができなくなっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
老人会など地域住民の有志から、学校や子どもたちに「何か」を教えたい。または「何か出来ることを協力したい」との申し出が出ている。

事務事業名	学校支援地域本部事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 合志南小学校区住民に事業への協力を依頼しているので、地域における子育て支援の政策に合致する。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 文科省から県を通じての委託事業であり、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象：校区内住民に学習ボランティアを募ることから対象としている。 意図：地域住民全体で学校教育を支えることから意図としている。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 合志南小校区は、住宅団地を多数抱えており潜在的な協力者人口が多いと思われるので、事業の趣旨を浸透させることで成果向上が期待できる。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 学校支援ボランティアの組織化が中断し、教職員の負担が増える。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 国からの受託事業であり、他の手段はとれない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費全額が国から出るので、削減は考慮していない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ この委託事業の主眼はボランティアの活動であり、コーディネータの謝金のみが人件費となるため削減はできない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 国からの受託事業であり、受益者負担の考え方になじまない事業である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切である。 ②有効性については、適切である。 ③効率性については、適切である。 ④公平性については、適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	△	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○	△																			
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)